

全期財政状況



市民病院増改築完成予想図

一般会計・特別会計の状況

平成17年度の各会計ごとの収入額、支出額、差引額は下表のとおりです。

会計	収入額	支出額	差引額
一般会計	1,164億2,677万円	1,132億9,824万円	31億2,853万円
特別会計			
国民健康保険事業会計	333億8,119万円	327億5,658万円	6億2,461万円
下水道事業会計	126億5,855万円	123億7,922万円	2億7,933万円
忠生土地区画整理事業会計	23億9,274万円	23億9,150万円	124万円
駐車場事業会計	11億5,818万円	10億7,670万円	8,148万円
老人保健医療事業会計	242億59万円	240億7,450万円	1億2,609万円
鶴川駅北土地区画整理事業会計	12億8,117万円	12億8,005万円	112万円
介護保険事業会計	175億6,204万円	169億8,978万円	5億7,226万円
受託水道事業会計	22億8,019万円	22億8,019万円	0万円
小計	949億1,465万円	932億2,852万円	16億8,613万円
合計	2,113億4,142万円	2,065億2,676万円	48億1,466万円

(万円未満四捨五入)

市有財産の状況

区分	現在高
土地	510万6,483.78㎡
建物	82万8,259.36㎡
物権	1,122.51㎡
備品 (取得価格100万円以上)	1,542台
積立金	185億5,323万円
有価証券	7,660万円
出資金	35億18万円
貸付金	2億7,471万円
無体財産権 (商標権・実用新案権)	30件

市債の状況

市債とは、都市計画道路・公園・下水道・学校など大規模な公共施設建設の財源として市が借り入れるお金で、その返済が長期にわたるものをいいます。

こうした施設は長期にわたり利用することができますから、建設時の市民だけではなく将来の市民にもその経費を負担してもらうことが、公平でもあるわけです。市債には、このように積極的な意義を持つ面がありますが、借金であることに変わりはなく、その運用には十分注意しなければなりません。

会計	元金残高	将来負担利子見込額
一般会計	686億976万円	89億5,210万円
下水道事業会計	523億8,837万円	168億5,383万円
病院事業会計	98億4,410万円	28億8,464万円
合計	1,308億4,223万円	286億9,057万円

(万円未満四捨五入)

企業会計【病院事業会計】

平成17年度の市民病院の利用状況は、入院患者数が対前年度比5.5%減、外来患者数が対前年度比3.2%減で、料金収入では5.6%前年を下回りました。

費用では前年度比3.8%減で、決算の結果は2億4,394万円の純損失となり、当年度未処分利益剰余金は7億7,392万円となりました。

利用状況と料金収益

(税抜き)

	患者数	料金収益
入院	119,153人	45億4,952万円
外来	303,280人	33億6,832万円

収入・支出の状況

(税込み)

	収益的収支	資本的収支
収入額	100億4,392万円	11億4,765万円
支出額	102億7,936万円	17億3,348万円

(万円未満四捨五入)

市民一人当たりの市税負担額・還元額

市民の皆さんが納めた税金は、ごみ処理・道路・下水道・公園等の都市基盤整備、児童・高齢者福祉施設や教育文化施設の整備、防災まちづくり等と様々な事業に使われています。平成17年度における市税収入額を人口で割ると市民一人当たりの市税負担額が、一般会計歳出額を人口で割ると市民一人当たりの還元額が算出されます。

市民一人当たりの市税負担額

15万5,663円

市民一人当たりの還元額

27万6,463円

[人口：409,814人
2006年4月1日現在]

各目的別に市民一人当たりの還元額を示すと次のとおりです。

議会費 1,518円	総務費 38,577円	民生費 96,905円	衛生費 30,486円	労働費 135円	農林費 1,413円
商工費 1,175円	土木費 39,333円	消防費 11,373円	教育費 34,821円	公債費 20,727円	